2026 年度

研究分野	授業科目名	科目責任者
生化学系分野	分子薬理学特論Ⅰ・Ⅲ	岡本 安雄

開講年次	共通／専攻／選択	単位数	
1,2,3,4	特論Ⅰ：必須専攻, 特論Ⅲ：選択	特論Ⅰ：4（2/年）, 特論Ⅲ：1/年	

目的

（1）基礎医学研究を通して得られた知識を臨床にフィードバックできるよう，生物学の基礎的知識・方法論・考え方を修得する。
（2）臨床で感じた疑問を解決できる方法を選択できる能力を習得する。

授業到達目標

（1）紹介論文の著者に代わって発想から結論までの理論と根拠を示すことができる。
（2）紹介論文の内容に対して批判し，質問することができる。
（3）重要論文を選択し，論文の目利きができる。
（4）専門英語を読みこなし，医学論文を理解する技術を取得できる。
（5）プレゼンテーションの仕方を体得できる。
（6）抄読会によって最新の医学知識を皆と共有する。

授業計画

回数	月日	曜日	時間	担当者	区分 1	区分 2	授業内容
1	毎週	木	15:00-17:00	岡本 安雄	講義	[抄読会] [研究検討会]	研究室で行われている研究の進捗と今後の方針に関する議論に参加し，研究の進め方を修得する。進行中の研究に直結する論文を輪読し，知識を深める。[場所:本館棟７階カンファレンス室 11]

評価方法

【特論Ⅰ】
（1）１年間※で 30 時間出席し，科目責任者から履修手帳に出席印をもらい，提出する。
（2）１年間※で，論文紹介または症例発表を２回行い，その要約２編を提出する。
【特論Ⅲ】
（1）１年間※で 15 時間出席し，科目責任者から履修手帳に出席印をもらい，提出する。
（2）１年間※で，論文紹介または症例発表を２回行い，その要約２編を提出する。
ただし，特論Ⅰ・Ⅱで紹介したものとは異なる論文（症例）であること。
特論ⅠとⅢの同年度での重複受講は不可とする。
※１～３年生は２月末まで，４年生は 11 月末までの講義を当該年度の単位認定の対象とする。

課題（レポート等）に対するフィードバック

（1）発表時には，ディスカッションを通じて理解度を確認する。また，自らの研究との関連についても議論する。
（2）論文紹介については，内容の理解や紹介の仕方など改善すべきところがあれば指導・助言を行う。

教科書

ISBN-9784524226825, Essential 細胞生物学, Bruce Alberts [ほか] 著 ; 青山聖子 [ほか] 訳, 南江堂, 2021

参考書

ISBN-9781324033349, Essential cell biology, Bruce Alberts ... [et al.], W.W. Norton & Co., 2023

準備学習（予習・復習等）

（1）講義ごとに紹介する論文を，次回講義までに読んでおく（１時間）。
（2）事前に教科書などで１時間程度，予習し疑問点をメモしておく。
（3）紹介された論文の内容・疑問点などを中心に復習する（１時間）。

修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

（1）発表を担当した箇所及び論文の内容を十分に把握し，方法論のみならず研究の背景や思考過程を理解する。
（2）他人の発表に対して，建設的・批判的な議論ができ，研究の方向性を多角的に考えることができる。

注意事項・メッセージ

大きな日程変更はないが，担当者や日程が変更する可能性があります。
常に自分の行っている実験とどのような関連があるか考えながら，講義にのぞんでください。